

# 出向く営農レポート

～尾張旭特産イチジク～



北部営農センター 尾張旭地区担当  
大津 和也

尾張旭市いちじく部会の谷口農園を訪問し、生育確認を行いました。

谷口農園では7月からハウス栽培、8月から露地栽培と順番に完熟イチジクを収穫していきます。



品種は赤実で大きく甘味のバランスがよい樹井ドーフィンの他、変わり種として白実のバナーネと黒実のビオレソリエスも栽培しています。

これから気温が上昇していくにしたがって、病害虫の発生に注意が必要となります。中でも「アザミウマ」の被害は、食味を悪くし商品価値を著しく低下させます。5月中旬頃から発生し始め、特に6～7月に多く発生します。今回の生育確認ではきちんと防除されていることもあり、アザミウマは確認できませんでした。引き続き防除を徹底し今年も美味しい『朝採り完熟イチジク』を出荷していただくよう依頼しました。

**イチジクでアザミウマ防除に使える薬剤：**  
アディオン水和剤、ジェイエース水和剤、モスピラン水溶剤など



イチジクの仕立て方はいくつありますが、谷口農園では1文字整枝という作業性が高い整枝方法を採用しています。

**一文字整枝：**  
地面に対して左右平行に伸ばした主枝から母枝を垂直方向に途中固定しながら伸ばしていく整枝方法。木が小さくまとまり、低い位置で収穫できるため、作業性が高い。

谷口農園は『朝採り完熟イチジク』だけでなく、ジャムなどの加工品も販売しています。また、地元の学校給食でも毎年提供されており、昨年はイチジクゼリーとして市制50周年の給食を彩りました。今年も7月から尾張旭グリーンセンターに谷口農園の『朝採り完熟イチジク』が並びますので、ぜひご賞味ください!

